

単元名 おばさんと おばあさん

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 長音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文の中で使うことができる。
(2) 語と語の続き方に注意することができる。
(3) 唱え歌を楽しみ、長音のある言葉をたくさん見付けようとする。

標準的な展開例

01010109_001

【教材名】おばさんと おばあさん (上 P.50～P.51)

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 長音の読み方や書き方を理解する。 ★のばす音のある言葉を読んだり書いたりしよう。 ○教科書 (P.50) の唱え歌をリズムに気を付けて読む。</p> <p>○教科書 (P.51) の長音のある言葉を読んだり書いたりする練習をする。</p> <p>2 長音のある言葉を見付けたり、助詞の「を」を使った文を書いたりする。 ○長音のある言葉を集めてノートに書いたり、友達と交流したりする。 ○長音のある言葉を使って文を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「おばさん」と「おばあさん」のように、長音になると違う言葉になることを知らせる。 ・手をたたきながら読むことで、音節を意識させる。 ・長音「ア列、イ列、ウ列、エ列、オ列」の言葉が集まるようにする。 ・エ列長音は「おねえさん」など特別な場合以外は「い」、オ列長音も特別な場合以外は「う」と表記することを確認する。 ・オ列長音の特別な場合、「おおきい」「とおい」「おおかみ」「とおる」「とお(十)」「おおい」「こおり」「こおろぎ」などがあることを押さえる。 <p>【評】唱え歌を楽しみ、長音のある言葉を見付ける活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「―を―。」という助詞の「を」を使った文を書かせる。 <p>【評】長音の表記、助詞の「を」の使い方、句点の打ち方を理解し、文を書く活動を通して「知識・技能」を評価する。</p>

【 備 考 】